

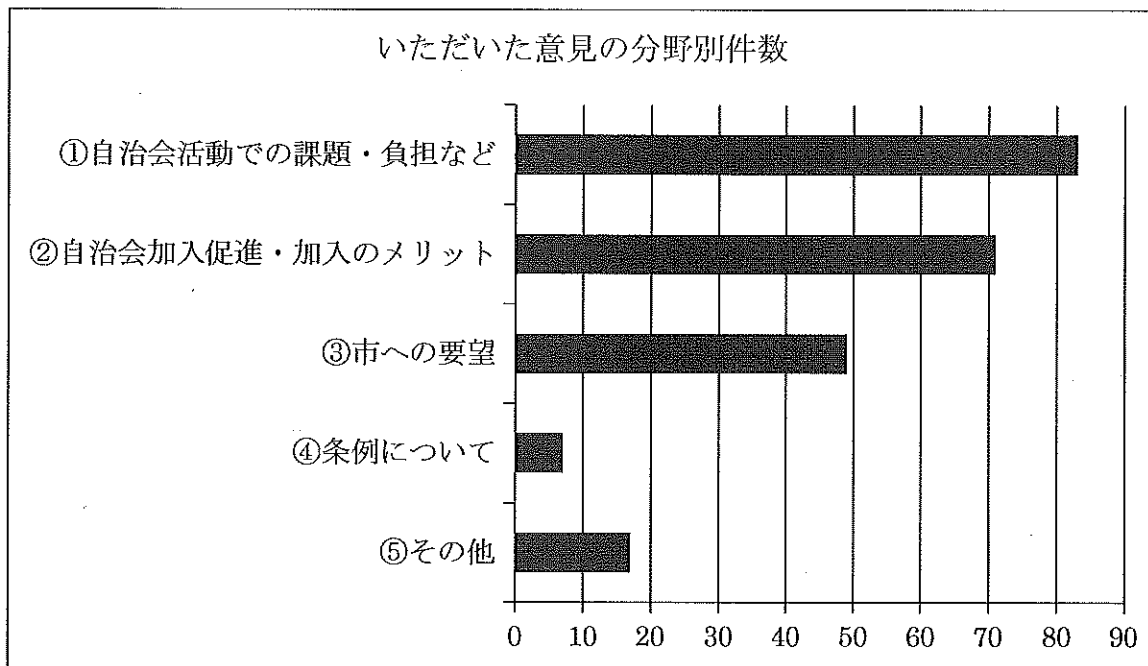
## 自治会連合会 12 支部への意見聴取の概要について

### 1. 意見聴取の実施概要

「自治会等を応援する条例（仮称）」の検討を行うにあたり、本条例を実効性のあるものにするため、自治連 12 支部からそれぞれ意見を伺った。

実施期間は、平成 30 年 5 月～7 月、12 支部の会議の中でお時間をいただいた。

### 2. いただいた意見の概要



#### ①自治会運営の課題・負担など 83 件

- ・高齢世帯での一人暮らしは自治会を退会する傾向がある。イベント等に参加できず、自治会に加入する必要がないと考えているのかもしれない。退会防止には、ごみ袋の配布が有効だと思う
- ・子ども会を退会すると同時に自治会も退会する傾向がある。そもそも子ども会への加入者も減少傾向である
- ・子どもの数が少ないため、子ども対象イベントは近隣の自治会と協力して実施すればよいと思う
- ・会員減少に伴い会費収入が縮小しているうえに、資源回収も減少し、予算規模が縮小している
- ・ごみの個別収集が始まり、周囲とのコミュニケーションが減少したように感じる

- ・地縁が薄らいでいるように感じる。単身アパートや独居世帯が増えていることも原因かと思う
- ・ライフスタイル、レジャーの多様化等もあり自治会に入らなくなった印象
- ・自治会長は作成書類が多く負担である
- ・役員のみなり手がいない
- ・行政等からの回覧物が多すぎる。広報に掲載しているものは回覧しないでほしい。全戸配布するものもやめてほしい

## ②自治会加入促進・メリット 71件

- ・マンション住民、若い世代への加入促進が必要である
- ・不動産関係事業者と連携した加入促進が必要（協定の締結など）
- ・土日に子どもが参加しているクラブに出向いて加入促進をすればよいのでは
- ・子ども会に入ってもらった際に、自治会へも入ってもらいたい
- ・他の自治会の加入促進事例発表会などがあると参考になる
- ・加入促進だけでなく、自治会を退会する世帯への対策も必要
- ・加入促進にはHIPの充実も良いが、紙ベースのチラシ、掲示板が有効である
- ・ごみ袋を自治会で配布、安く販売できるようにすればメリットになる
- ・絆カードでごみ袋を安く買えるようにしてほしい
- ・災害時に避難所の運営等を担うのは自治会であるということを知ってほしい

## ③市への要望 49件

- ・転入者に対して市の窓口で自治会への加入を勧めてほしい
- ・会長や役員に報酬を出してほしい
- ・掲示板設置の補助金があると良い
- ・市で自治会の活動や加入の意義・メリットについてもっと周知すべきだ
- ・小さい自治会が連携して行事などを実施できるような支援がほしい
- ・市職員には自治会の行事や会議に顔を出してもらい、現状やその地域の歴史などを把握してほしい
- ・市の部署間での連携・調整をもっと進めてほしい
- ・自治会に対する要求と支援のバランスが取れていない（支援が少ない）

## ④条例について 7件

- ・条例ができると加入促進の後ろ盾になって良い
- ・条例でマンションを建築する際にマンションごと地元自治会に入ってもらいように仕切ってほしい
- ・住民の自発的な参加がないために条例を作るのではなかったか。既に固まっている内容を見せられているという印象だ
- ・条例を作っただけということにならないよう、具体的な施策を希望する
- ・条例文案のインパクトが弱い。読んでもよくわからない

富士見町支部意見交換会でいただいた意見の概要

日時：平成 30 年 5 月 8 日

午後 7 時 30 分～9 時

<p>自治会への加入促進</p>	<p>マンション住人への加入促進は、マンション管理組合とやり取りすると良い。</p> <p>マンションが建設される際に事業者と調整して自治会に入ってもらっている。</p> <p>自治連の管外研修で横須賀市の自治連を視察した際に、不動産関係事業者と連携して加入促進活動を行っていたのが印象的だった。今後立川市も条例制定した際に不動産関係事業者と連携した取り組みをするに当たっては、大きな不動産関係団体に丸投げするのではなく、小さな不動産屋でも加入促進していただけるように取り組んでほしい。また、不動産関係事業者に対して自治会の生の声を伝える機会があると良い。</p> <p>集合住宅には加入促進に行っていない。また、若い世代は共働き家庭が多く、土日も車で遊びに行くことが多いのか、なかなか会うことができない。</p> <p>戸建の方や子どもがいる方は自治会に入る傾向がある。集合住宅や若い夫婦二人世帯の方は自治会に入らない傾向がある。</p> <p>加入促進活動について、自治会ばかりに頼るのではなく、市の住民登録をするときに市から自治会加入について説明をしてほしい。自治連とも連携して加入促進活動をもっとしてほしい。</p>
<p>自治会活動への参加促進</p>	<p>若い世代を巻き込む方法として、「オヤジの会」を作っており、BBQ などのイベントを実施し自治会活動への参加の声掛けをしている。</p>
<p>自治会加入の意義</p>	<p>自治会加入のメリットばかりを問われるが、目に見えるメリットのみでなく、自治会がないと地域がまわらないということを理解してもらえない。</p> <p>自治会加入の意義は、メリットだけの問題ではなく、地域で暮らす住人として当然のことであるということを伝えたい。自治会活動はまつりや防災訓練だけではなく、地域の暮らしをよくするために様々なことを行っている。</p> <p>当自治会は、マンションができた当初は管理組合しかない状況であったが、マンション住民の子供たちが、子ども会行事、ドッジボール大会、運動会に出場したいとの声があがり、自治会を設立した。近隣の自治会に加入することも検討したが、世帯数が多いため、単独で設立した。当自治会には集会所や PC、防災用品もないが、何とかやれている。自治会への加入は、入りたいと思う動機があれば良いのではないかと思う。</p>

自治会活動の負担	当自治会エリアにあるマンション住人のうち、小学生が 100 人位いるが、自治会活動に参加しているのは 25 人程度である。参加しない方は、行事が多くて嫌だとの意見がある。当自治会での活動は親の負担が大きいとの噂が保護者間で話されているらしい…
	自治会に送られてくる回覧物が多すぎる。割合的には、行政・消防・警察が 3 割、自治連関係が 7 割という印象だ。全戸配布するものはとても労を要するのでやめてほしい。
	若い世代の負担軽減策として、子ども会の役員をしている方は、自治会での役員を免除して、子ども関係の担当のみを任せている。
自治会退会の理由	高齢者世帯で一人暮らしになると、自治会をやめたいという方が多いが、当自治会ではそのような方だからこそ自治会に入っていてほしいと伝え、引き続き加入してもらっている。
	子育て世代は、子ども会に入る際に自治会に入会し、子どもが中学校を卒業するあたりで、子ども会、自治会を退会するという傾向がある。
	自治会加入世帯が近年急激に減少しているのは、ごみの個別収集が始まったからではないか。
その他	転勤族で、日本各地に暮らしてきたが、立川市は団体活動が盛んでよいと思う。
	富士見町支部内でも、各自治会が抱える課題は違う。何かあった時にどのように動くのかをそれぞれの自治会で考える必要がある。市（協働推進課）は、何度でも支部会議等に来て各自治会の意見を聞いてほしい。

柴崎町支部意見交換会でいただいた意見の概要

日時：平成 30 年 6 月 15 日

午後 7 時～7 時 30 分

加入促進・ メリット	新たにできた戸建住宅に加入促進へ行ったが、適当にあしらわれた。若い世代は自治会に関心がないのかもしれない。
	マンション住人への声掛けは、行政から行ってほしい。
	新住民には自治会に入るメリットが感じられないのではないかな。また、加入促進する場合には、声をかけるタイミングも大事である（入居後すぐに行くといったことが大事）。
	自治会のメリットを市として周知してほしい。加入しているとこんなに良いことがあるといった具合に。また、分かりやすくニーズのある方法として、ごみ袋を無料（1世帯1袋でもよいので）にしてもらえると喜ばれる。
高齢化	都営アパート自治会だが、住民が高齢化し、イベント等には参加できなくなっており、自治連、自治会に入る必要がないのではとの意見が多い。せめてごみ袋を無料配布できれば説明できる。
	自治会を退会される方が多い。75 歳以上は役員を免除するなど工夫している。
子ども	子ども関連のイベントなど、近隣の自治会と協力して実施した方が良い。子どもの数が減少しており、効果的である。近隣で自治会で助け合い、補完し合う必要がでてきている。
	最近子ども会にも入らない方が多い。育成部が苦慮している。
その他	我々の自治会では、エリア内に住人が少なく、役員のなり手がいない。会員は地権者が多く、会費は支払ってもらっているが、エリア内に住んでいないので役員になれない。

錦町支部意見交換会でいただいた意見の概要

日時：平成 30 年 7 月 18 日

午後 7 時 30 分～8 時 45 分

加入促進・メリット	若い世帯への自治会加入促進には、その年代へのメリット（子どもに対する事業など）を説明しながら行っているため、ある程度若い世帯も加入している。絆カードももう少し若い人が使えるようなお店が増えたらその年代へのメリットになるのではないか。
	自治会エリア内にある 3 つの分譲マンションは建てる際に自治会についての話をし、加入してもらった。賃貸マンションは任意で加入してもらっている。
	我が自治会エリアは、昔から住んでいる方が多く、同じ敷地内に子どもや孫も暮らしている世帯も多い。自治会の会費は、世帯構成によって変えている。マンション住人にも役員をやってもらっており、若い世代が自治会の運営に参加している。2～3 世代同居世帯には、うまくコミュニケーションをとることで、若い人が自治会活動に参加してくれるようになる。
	昔からある土地で、住んでいた方が亡くなると、子どもたちはその土地を売ることが多い。その場合集合住宅になることが多く、一括で自治会へ加入してもらおうようにしているが、入らないところもある。集合住宅（ワンルーム）は会費を安く設定し、回覧なし、班も設定しない、チラシをマンション掲示板に貼ってもらっているといった程度である。
	自治会エリア内にお店が多いので、賛助会員は増えている。地域とつながることで、商売へのメリットがあると思っ加入していると推測される。
	自治会への加入促進には限界を感じている。自治会を応援する条例ができると、加入促進の後ろ盾になって良い。
	自治会エリア内にワンルームマンションが多く、以前は管理組合で自治会に入っていたが、現在は個別に加入することが多い。
	自治会エリア内のコンビニエンスストアは、オーナーが自治会員のため、毎日買い物に来る高齢の会員が突然来なくなったといった場合に、民生委員に連絡するなど、見守りの役割を担っている。
自治会運営の課題・負担など	自治会世帯数が 800 世帯を超えており、これ以上増えると運営が困難になる。50 代以下の役員が多く仕事を持っている方も多いため、行政からの回覧物は夜の 11 時から仕分けを行っているが、回覧物が多くて役員の負担感が強い。
	自治会長は、補助金申請等の作成書類が多く負担である。

	<p>自治会の役員が病気等で倒れた場合、代わりの人に頼めない状況であり、その分自治会長への負担が増加する。自治会長としての仕事も多忙なうえ、他の役員の仕事も任されると回していけない。自治会以外の地域団体（体育会・文化会等）も同じ様な状況で、今後成りゆかなく事態が懸念される。</p> <p>我が自治会は、子ども関連の年間行事が多く、夏休みには勉強会も実施している。ただ、会員ではない子どもも参加することがあるが、会員ではないからと切り捨てられない。その他、放課後子ども教室では、自治会の方が運営に多く参加しており、自治会に入っていない子どもにも対応しなければならぬことに内部から不満が出ている。</p> <p>少子化が顕著である。子どもの数は三小地区 500 人、七小地区 160 人で、七小地区の中でも我が自治会は若い世帯がほとんどいないため、子どもの数も非常に少ない。</p> <p>子どもの数が少ないため、子ども会がない。周辺 3 自治会合同で、子どもと高齢者が合同で体操をしたいと考えている。</p> <p>ごみの個別収集が始まり、周囲とのコミュニケーションが減少した様に感じる。また、それに伴い自治会を脱退する人が出ている。</p> <p>自治会員が減少すると、会費が減り、活動を縮小せざるをえない。</p> <p>自治会でお祭りを実施しているが、未加入の方が多く来場すると赤字になる。</p> <p>ライフスタイルの変化、レジャーの多様性等もあり、自治会に入らない方が多くなった印象である。自治会に入らなくても、色々なことが個人や習い事等でできる時代になっている。また、シルバー世代の方は、班長がまわってくると負担が多く困っている。特に集金については、何度行っても留守の世帯が多く大変である。</p> <p>自治会エリア内は店舗が多く、その多くがビルオーナーから借用している。そのため、自治会のほか、商店街にも加盟しない店も多くなっている。多くの方は、自治会がどのような活動をしているのかを知らないと思うので、情報を発信する必要がある。</p>
市への要望	<p>自治会が設置する掲示板に対する補助金がない。また、公共施設に自治会掲示板を設置できないか。掲示板は自治会活動を周知するのに良い。</p> <p>自治会で加入する損害保険を、市で加入してほしい。もしくは保険料に対する補助金があると良い。</p> <p>自治会のイベント等に出るごみは事業系ごみであるが、処理場まで持参する必要があり、それが自治会員の負担となっている。自治会が出すごみは、引き取りにきてもらえる等対応はできないものか。</p>

	<p>以前自治連の管外視察研修会で視察した熊谷市や横須賀市のように、集合住宅を建てる場合に、必ず自治会長へ自治会加入について事前に話し合いをしないといたことを立川市でも実施してほしい。</p>
その他	<p>錦町五丁目は錦町の中でも世帯当たりの人数が多く、自治会への加入率も高い。一方、駅に近い一丁目や二丁目は集合住宅が多い。同じ支部内でもエリアによって状況は違う。</p> <p>自治会エリア内のアパートは単身者が多く住んでいる。</p>



羽衣町支部意見交換会でいただいた意見の概要

日時：平成 30 年 7 月 19 日

午後 7 時半～8 時半

於：羽衣中央会館

<p>加入促進・ メリット</p>	<p>過去からの加入促進活動も、自治会連合会を通してただやってくれではなく、単位自治会の会合に職員が出て、直接思いを伝えれば結果も変わってきたはずである。</p> <p>ごみ有料化の際に、ごみ袋を自治会経由で販売するようにすれば、未加入世帯も自治会とつながりができて、そこから加入してくれる人も出てきたと思う。</p>
<p>自治会で行 っている取 組・運営の課 題・負担など</p>	<p>自治会の活動を知ってもらうため、加入世帯・未加入世帯関係なく、お祭りの出店で使える 200 円の券を配っている。</p> <p>班長の負担減のため、臨時の回覧は流さないこととしている。同じく負担減のため、役員会の開催も減らした。行事運営の打ち合わせなども減るが、ダメならダメで良いという鷹揚な運営を心掛けて、役員が感じる負担を減らしたいと思っている。</p> <p>市は自治会の運営が黙っていても続くものと考えているし、チラシは自治会に流せば加入全世帯に情報が届くと認識しているように伝わってくるが、それは間違っていて実際はどこの自治会もギリギリの状況で運営している。</p> <p>自治会の人のごみ出しなどについて、家の敷地からはみ出ている部分に出すなどルールを守っていない世帯に苦情を言っても、市ではその世帯のごみも回収してしまう。結果として苦情を言った自治会の人が悪者になる。</p> <p>都営住宅の自治会だが、加入率は 100%でも単身世帯が 60%であり、更に入居者の高齢化も進んでいるため、自治会活動はほとんどできていない。役員ができる人も少なく、行事や回覧に負担を感じている。</p> <p>高齢化が進んでおり、会員世帯の 80%以上が老人会にも入っている状況である。3年～4年で役員が回ってくる。</p> <p>別の自治会と一緒に何かやるのは難しい。</p> <p>近年は共働きの家庭が増え、以前であれば子ども会を終えたら自治会の婦人部で活動していたが、最近では、子ども会と同時に自治会を退会する世帯もある。</p>
<p>条例につい て</p>	<p>条例の案文に、「住民が自発的に自治会に加入し」とあるが、自発的な加入がないから現在の状況になっている。住民の自発的な参加がなく、自治会の働きかけだけでは厳しいから、市に対応を要望したという経緯ではなかったのか。既に固まっている内容を見せられているという印象しか抱かない。</p>

<p>条例について</p>	<p>条例や自治会の会合に来るタイミングが、「時すでに遅し」という印象である。10年以上前から市には要望を出していたが、対応をとらなかった。その間に自治会が衰退してしまった。</p>
<p>市への要望</p>	<p>市が単位自治会の歴史や実態を知らな過ぎる。自治会担当の職員をつけて、多くの部署の職員が各自治会の会合に出席し、市の業務の話をしたり、自治会の課題を聞いたりして、自治会の実態を把握した上での支援を望む。市が各自治会の実態を知らないから、補助金などの支援もやる気がある自治会、ない自治会関係なく一律の基準で行われている。これではやる気のある自治会が衰退していくのも当然である。もっと単位自治会を大切に考えてもらいたい。</p> <p>市の職員は人事異動で担当から数年で外れるため、本気で自治会のために何かを変えようという気が見られない。</p> <p>自治会長や自治会役員に報酬を出して欲しい。</p> <p>民生委員の推薦依頼の際に、地域を良く知る67歳の人を推薦したら、規定外の年齢であるという理由で断れられた。地域が民生委員として望んでいるのは、年齢関係なく、困ったときに面倒を見てくれる人であるので、規定を変えるなどの対応を要望したが、ただ決まっていることであるという回答で結局実現しなかった。市が望む要件が地域の実情とずれていると感じた。</p> <p>一つの案件に対して、異なる部署が相反する意見を自治会に言ってくる。もっと真剣に部署間で議論・調整をしてから市の方針を伝えて欲しい。</p> <p>申請や報告の手間が不要な助成金を望む。</p> <p>行事への補助ではなく、日常の活動を支援する補助を出して欲しい。例えば自治会長や班長に報酬を出すなど。役員報酬を出して、その中から地域行事に祝い金を包めるようにする。現在は自治会予算に役員交際費がない自治会では自己負担になっている。役に就いている間は、自己負担なしで祝い金などの付き合いを行っていくうちに関係性ができてきて、役を降りた後も地域とのつながりに意識が向き、自治会に協力的な人が増える。</p> <p>アパートやマンションの管理会社やオーナーに対する強い加入促進対策を望む。</p> <p>ごみを高齢者や認知症の方でも出しやすい分別方法（もしくは高齢者用の分別のゆるい分別袋を作るなど）にして欲しい。</p> <p>自治会の実情を聞きたいのであれば、支部単位ではなく、単位自治会ごとに来るべきである。また、1回来て終わりではなく、継続してくる必要もある。この1回で自治会からの意見を聞いたと言われては困る。</p>

曙町支部意見交換会でいただいた意見の概要

日時：平成 30 年 6 月 22 日

午後 6 時 30 分～7 時

<p>加入促進・ メリット</p>	<p>自治会が加入案内に行っても、まず言われるのは何のメリットがあるのかということである。</p> <p>管外視察研修で以前伺った栃木県や山梨県は加入率が高かった。その要因を知ることがヒントになるのではないかと。</p> <p>今自治会に加入をしている方が、どうして加入しているかといった視点も必要では。→子ども会や防災への意識が多いと感じる。村八分のようなペナルティ方式は現実的ではない。</p> <p>若葉町で新しく自治会を立ち上げたところがあると聞いた。メリットや必要性が低下していると聞く中で、どこに意識を持って結成しようと思ったのか聞いてみたい。</p>
<p>高齢化</p>	<p>高齢化で役ができないなどの理由で1世帯抜けると、雪崩式に班の世帯が自治会を抜ける。</p>
<p>マンシ ョン・ア パート への働 きか け等</p>	<p>条例でマンションを建築する際にマンションごと地元の自治会に入ってもらえるよう仕切って欲しい。建築・入居後はマンションの住人とはコミュニケーションがとりづらい。</p> <p>今年度中の実現は難しいが、区域内の未加盟のマンション自治会との合併の話が先方から出ている。きっかけとしては、単一では活動が困難であるとのことからだった。</p> <p>マンションが新築される際に、管理組合の会議に自治会長が出て説明のうえ、任意加入してもらったが、マンション総世帯の数パーセントしか入らなかった。可能ならまとまって入って欲しいと思っている。</p> <p>単身アパートは居住者を自治会では把握できないので、管理会社や大家に一括で会費を入れてもらっている。</p> <p>地元の土地持ちの人がワンルームアパートを最近建築することが多い。(特に曙町1丁目)居住者は自治会に入らず、苦慮している。</p> <p>区域内にできた野村不動産のマンションでは、建築前から事業者と自治会で交渉をして、全戸加入にしてもらうことができた。</p> <p>自治会の加入世帯把握について、転入転出が多くマンションのどこまでが入っているかあいまいで、名簿作成ができていない。市の方でなにか名簿作成の支援があれば助かる。</p>
<p>自治会運 営の課 題・負 担 など</p>	<p>自治会長を務めたこの10年でも、地縁が薄らいでいることを実感している。自治会長としての葬儀弔問もめっきり無くなったことがそのことを端的に示している。単身アパートや独居世帯が増えていることが要因かとも思う。</p>

自治会運営 の課題・負担 など	ごみの個別回収により、町会が指定する収集所まで持ってきてくれる会員が減り、自治会の収入源となっている廃品回収の協力も得づらくなった。それに伴い、会員同士のコミュニケーションの機会も減った。
	子ども会だけに入会したいという世帯には疑問を感じている。厳しい財政の中で自治会からも子ども会には支援金を入れており、それで子ども会行事なども実施できていることを理解してもらいたい。
	役員の負担減として、回覧をなくして掲示のみにするなどの仕切りをしても良いのではないか。また、市の回覧も断っても良いのではないか。
市への要望	転入者に対しては、市が転入届を受理する時に自治会加入の案内を行って欲しい。
	マンションに関しては、管理会社との交渉・アプローチを市からも行って欲しい。
	自治会のインセンティブとして、自治会として市に要望を出して実現する仕組みを設けて欲しい。(個人の要望とは差別化した形で)
	建築確認などの際に、市で建て主に参加への指導をしてもらいたい。
	小さな自治会の結成は規制し、既存の自治会に入ってもらえるようにして欲しい。

高松町支部意見交換会でいただいた意見の概要

日時：平成 30 年 7 月 7 日

午後 7 時 30 分～9 時

加入促進・メリット	マンション建設時に自治会加入促進する場合は、行政からデベロッパーに早めに交渉してほしい。
	マンション建設時に管理会社に対して自治会長に話をするように伝えてほしい。
	自治会エリア内に集合住宅が多くなり、入居者を把握できない。大きいマンションは管理組合とやり取りすればいいが、小規模のマンションはマンション管理人も常駐しておらず、自治会加入促進がしにくい。ワンルームマンションは自治会加入促進の対象外である。
	立川市へ引っ越してきた方に対して、市から自治会加入を勧めてほしい。自治会で加入促進活動を行っているが、5 件に 1 件位の割合でしか加入しない。自治会への加入を増やすには、市役所で強制加入を謳ってもらえない。
	自治会加入者を増やすためには、若いうちから自治会に馴染んでもらう必要がある。
	自治会活動等の周知を市広報紙で行うだけでは、自治会会員しか見ないのではないか。広報紙を見ないような人にこそ知ってほしいので、周知媒体を工夫してほしい。また、自治会加入の必要性を強めの表現で訴えてほしい。
	自治会が子ども会とうまく連動しないと、子育て世代を自治会に取り込むことが困難である。子どもは子ども会に入っても親が自治会に入らないケースが多い。また、老人会に入っているが、自治会には入っていない方も多い。
	防災や見守り活動（安否確認等）では、自治会の班が末端として機能することになるので、そういった観点から自治会の必要性を訴えて、加入促進を行うと良いのではないか。
	現在、自治連に加盟している自治会と未加盟の自治会で補助金に差があると認識しているが、それならば、自治会に加入している方と加入していない市民に差をつければ、自治会に加入する動機づけになるのではないか。
	自治会加入のメリットとして、絆カードでゴミ袋を安く買えるようにしてほしい。この対応が困難であれば、自治会単位で購入すれば安くなるといった方法でも良いので検討してほしい。
防災課で作成している支部エリアごとの防災マップは、それぞれの自治会エリアも記載しており、加入促進のツールとして使える。	
昨年自治会に加入した方が、今年になって脱退した。理由は、加入していても特に何もメリットがないとのことだった。	

自治会運営 の課題・負担 など	自治会員が減少し、会費収入が縮小しているうえに、資源回収も減少している。自治会活動における予算規模が縮小している。
	新しく自治会に加入した方の多くは、お祭りや運動会にも参加してもらえない。会費は払ってもらっているが、活動への参加を促すのが困難だ。
	行政等からの回覧や募金が負担である。募金については会費とまとめて徴収するといった工夫をしているが、集める金額が大きくなると金銭的な負担を強く感じる会員が増えるので悩みどころである。
	会員が高齢になり自治会をやめていくと、ブロック（班）の人数が少なくなり、役員が早いサイクルで回ってくる状況になるが、ブロックの再編を行うことには根強い反対も多く、困難である。また、新しく引っ越してきた若い世帯は自治会には入らないので会員が減る一方だ。
	以前、自治連管外研修で視察した前橋市では、自治会長に報酬がでているということを知った。立川市でも同様に会長に報酬を支払えば、ある程度の負担も我慢できるのではないか。
	班長に報酬を出すための補助金があればよい。
その他	自治会は市役所の多くの部署とやりとりをしているが、庁内での協働が進んでおらず、効率的ではないように感じる。
	あるマンションは、ほとんどの入居者が75歳以上で、災害が起こった際はどうしようもなくなるのではと心配している。
	外国人のゴミだし等のマナーが悪い。言葉も通じず接点もないため、改善できない状況である。
	自治連管外研修で視察した熊谷市では、自治会は自治連に入ることが前提となっており、立川市でもそのように対応してはどうか。

栄町支部意見交換会でいただいた意見の概要

日時：平成 30 年 7 月 14 日

午後 7 時～8 時

於：さかえ会館

<p>加入促進・ メリット</p>	<p>自治会はゆるいコミュニティで良いと思っているが、それでも入ってもらうためには何かしらの魅力+引越しのタイミングを逃さず加入案内をすることが大切であり、そこは市にも情報提供の支援をもらいたい。</p>
	<p>子育て世帯は子どものクラブなどの集まりで土日は埋まっている。市立体育館や小中学校の体育館で活動しているクラブも多いため、その場に加え促進に行くなどの案はどうか。親としても子どもが子ども会に入れるなどメリットを感じる点もある。自治会をアピールする機会はあるのではないかな。</p>
	<p>会員の中でも活動も参加せず回覧も不要という人がいる。その人が入っている理由として災害など万一の時の安心感があるからではないかと思っている。</p>
	<p>自治会に入っていないと困るという何か動機づけとして必要である。災害時などに行政からの連絡、地域に必要な物資などのやりとりを組織としてまとめて動けることが自治会の利点。そのような点も周知してもらいたい。</p>
	<p>自治会に入りたくない人は、他人と関わるのがわずらわしいと思っている人であると思う。</p>
	<p>他市のように住宅販売事業者との協定を結び、入居の際に自治会加入の案内をしてはどうか。</p>
	<p>子ども会に入ってもらった時に自治会に入ってもらったことを条件としている。</p>
	<p>自治会が防犯灯の管理などをしており、安心安全に寄与している点を打ち出してはどうか。←防犯灯に関しては、市の街路灯も増えているため、自治会の意義としてそこまでは打ち出せないのではないかな。</p>
<p>条例について</p>	<p>条例を作っただけ、という理念的なところに留まって欲しくない。具体的な施策を希望する。</p>
<p>市への要望</p>	<p>自治会に入る具体的なメリットを市にも考えてもらいたい。例えばゴミ袋がもらえるなど。</p> <p>自治連の視察で行った川越市や小田原市では自治会に入らなければ転入させないという強い制度があった。本気で加入率を上げたいのであれば、市の強い施策の展開を希望する。←両市ともこのような制度はありませんが、先方の自治連と意見交換する中で一部地域の実態としてはこのような対応を取っているところもあるという理解です。</p>

市への要望	<p>ごみ袋に関しては、絆カードと連携して販売店で割引ができるようにしてほしい。</p>
	<p>例えば災害の際に自治会員には避難所の備蓄品を優先して配布できるなど、インパクトのある施策が必要である。</p>
	<p>自治会の会員証（ステッカー）を作成し、家のポストなどに貼って加入未加入の世帯を自治会の人で区別できるような仕組みがあると良い。安否確認の訓練でも、訓練で未加入世帯を訪問するのは難しいので、自治会員の家がわかるとありがたい。</p>
	<p>救急医療情報キットを自治会加入世帯に配布するのはどうか。小平市では高齢世帯などに加入未加入の別なく配布しているようだが、自治会加入のメリットにしてもらえないか検討してほしい。自分の自治会では、10%強の世帯が高齢の独居世帯であるため、脱会防止にもなると思う。</p>
	<p>行政等からの回覧物が非常に多く、回覧を回すことに会長・役員が追われてしまっている。回覧を見る側の会員の負担にもなっているのではないか。市報で出している情報は回覧で回さないなど仕切って欲しい。</p>
	<p>自治会に入ってもいいけど役員をやりたくないとの意見が多い。市から会長等役員への負担に対する補填として役員報酬を出してほしい。</p>
	<p>自治会内で高齢化が進んで役員のなり手がいない。一方で若い世帯も自治会には入らず、子どもが区域内にいるのかも把握できなくなっている。若い人が魅力を感じてもらえるような思い切ったやり方を市には希望する。</p>
	<p>自治会の立ち位置に関して、公益のためにやっていることについては、市に特別扱いをして欲しい。例として自治連の防災訓練の際に、備蓄倉庫の備品（発電機）を使わせてもらうとか、備蓄倉庫に自治連の防災用品をもっと置かせてもらうなど。</p>
その他	<p>地域に対する考え方が変化しており、個人主義になっていると感じる。</p>
	<p>国分寺市との境に住んでいるが、国分寺市の市民から立川市がうらやましいとの話を聞いたことがあり、立川市は他市から見ると魅力的なまちであると感じている。</p>
	<p>広報自治連も戸別配布ではなく回覧にして欲しい。</p>
	<p>管理組合やマンションは管理会社の管理人や専用の事務局があって、自治会は自治会に必要な作業に集中できる。自治会をしていても、市への補助申請などはお金を払ってでも代行してもらえるといいと思うことはある。</p>



若葉町支部意見交換会でいただいた意見の概要

日時：平成 30 年 7 月 16 日

午後 1 時～2 時

於：若葉会館

<p>加入促進・ メリット</p>	<p>70世帯程度の区域の自治会なので、コミュニティの把握がしやすい。世帯の転入もすぐにわかるので、タイミングを逃さず加入の案内を行うことができる。案内は1回行っただけで入ってくれることはないので、数回行くようにしている。区域内の加入率はほぼ100%である。</p> <p>平成23年に自治会を20年ほど前に開発された60戸程度の区画の世帯で結成した。設立にあたり、防犯・防災を主に区域内の世帯に必要性を呼びかけ、それが理解してもらえた感触を得たので、防犯・防災やごみの問題など身近なことを話し合う会を数回設けたのち、結成という手順を経た。</p> <p>若葉町支部では、町内の戸建てエリアで自治会がない地域に自治会結成を働きかけている。現在3か所ほどのエリアで活動を勧めている。</p> <p>自治会のメリットとして、自治会を通じた回覧の方が市報などより内容が詳細で、市からの情報提供が多いということも伝えて欲しい。</p>
<p>自治会で行 っている取 組・運営の課 題・負担など</p>	<p>役員のなり手がいない。若い人は子どもの用事を優先にして、自治会に参加してくれない。</p> <p>厳しい状況の中で、他の自治会が頑張っている要因を共有したい。</p> <p>自治会の形態によって事情が違う。支部の中でも他の自治会のことはなかなかアドバイスできない。一律の対応でまとめるのは難しいと感じている。</p> <p>自治会の区域が広く、自治会を通じたコミュニティといっても意思疎通が難しい。班ごと自治会を抜けることもある。</p> <p>なかなか同じことをやるのは難しいと思うが、大山団地など、市内の好事例の状況を聞きたい。</p> <p>回覧を回さないで欲しいという世帯もあるため、班の中で個別対応している。</p> <p>団地において高齢独居世帯とコミュニケーションをとるのが難しい。回覧も不要とし、外に出ない人とは連絡の取りようがない。孤独死なども問題となっているが、見守りといっても難しいと感じている。</p> <p>朝日新聞のとったアンケートで、自治会に加入したくない理由として、①人間関係がわずらわしい、②参加を強制させられる、③役員をやりたくないという理由が上位であった。このようなマイナスの要素をなくしていける運営をしたい。</p>

自治会で行っている取組・運営の課題・負担など	<p>回覧では、市からのチラシのほかに月例会議の議事録を回して自治会の行っていることを周知している。</p>
	<p>自治会のあり方として、ゆるいコミュニティを維持するための集まりという考え方で運営を進めている。それぞれ違う考えがある地域内の世帯を一つの枠に押し込めることには疑問を感じる。ゆるいコミュニティを維持しつつ、できるだけ行事や運営に参加・協力する人を増やしていきたい。</p>
	<p>150世帯程度の自治会で、区域内の90%ほどが加入している。一方で一番参加率の高い行事でも50名くらいの参加であり、行事などに参加しない世帯が自治会に加入している理由は把握していない。そのため、加入していても会員相互のつながりがあるかという点、それを感じていない世帯もある。行事などに参加しない世帯がそれでも入っている理由として考えられるのは、防犯・防災などの面で自治会活動に興味はないが、万が一のときに助けをもらえるかもという考えからであると思われる。</p>
	<p>自分の自治会では、自主運営の行事を行っていないため、その分会費を安くしている。廃品回収は行っており自治会の収入源としているが、そこで得たお金は会員にバックしている。</p>
	<p>会員世帯の年代差によるコミュニケーションの難しさを感じている。数年前、定年後の人が自治会長になった時に、熱心にやりすぎて一部の世帯が一斉に脱会してしまった。一方で、会長がある程度リーダーシップを発揮しないと物事が進まない面もある。</p>
	<p>会員間のコミュニティ形成をするため、5世帯程度で細かく班を分け、班内での関係性を築いてもらうよう働きかけている。回覧もそのツールになる。成果として、以前は個別に行っていた雪かきを皆でやる状況が見られるようになった。</p>
市への要望	<p>市は自治会を行政の下請け扱いしているのではないか。</p>
	<p>市が自治会というものをどのように考えているか示して欲しい。</p>
	<p>市が市民に対して、何のために自治会に入るのかを明確に打ち出してもらわないと加入促進は難しい。</p>
	<p>市からの自治会に対するアプローチが不足している。</p>
	<p>練馬区は自治会加入率が100%と聞いた。実際に行った際にも行政との連携がとれていると感じた。防災なども含め、もっと市役所の中でも連携して自治会との交流を図って欲しい。→加入率は、実際は40%くらいでしたが、区民協働センターを直営でやっており、ホームページなどでも簡単に自治会行事や自分の住まいの自治会が見られるので、確かに行政が厚く支援している様子は見られました。</p>

市への要望	<p>孤独死の見守りや災害時の避難支援など、市のことをコミュニティがやらない・できないのは、コミュニティに責任が負わされるものなのか。市やその他の行政によるバックアップが必要と感じる。</p>
	<p>市には単位自治会や支部の行事に顔を出してもらって、その地域の様子、雰囲気や現状を現場で感じて欲しい。意見交換のやりとりだけでは伝わらない。</p>
	<p>立川駅周辺の地域と比較すると、若葉町（とか西砂町）には市の意識が向いていないと感じている。支援をされているという実感が薄い。</p>
	<p>市から自治会を通して頻繁に情報提供がなされるが、加入世帯が半分以下の現状で、その役目を果たしているか疑問である。半分以上の世帯に行っていない情報はどうするのか。</p>
	<p>掲示板にかかる費用を自治会だけで負担するのはつらい。</p>
	<p>自治会に対する要求と支援のバランスがとれていない。（支援が少ない）</p>
その他	<p>7年前に西東京市から引っ越してきた際に、立川市の自治会は随時地域で様々な活動しており驚いた。その後輪番で単位自治会の会長になったことをきっかけに、支部の役員なども続けている。</p>

幸町支部意見交換会でいただいた意見の概要

日時：平成 30 年 6 月 21 日

午後 8 時 30 分～9 時

加入促進・ メリット	ごみが戸別収集になったことで、ごみ出しの際にコミュニケーションをとる機会が減り、加入案内のきっかけがなくなった。
	他自治会の加入促進事例発表会などがあると参考になる。
	昔はお祭りを動機に加入する世帯もあったが、現在はなかなか行事の魅力だけでは加入してくれない。
高齢化	高齢化している都営住宅では、活動ができなくなっている。
条例について	自治会ごとの事情が違うため、条例で一括して対応するというのは難しいのではないか。
	条例文案のインパクトが弱い。読んでもよくわからない。
自治会運営 の課題・負担 など	新しい入居者が既存の自治会に溶け込めず、小規模開発などの区画で自治会を結成するが、結局世帯数が少なく活動できていない。(できれば既存の自治会に入りたい。)
	自治連の会議や行事が負担であるという話を聞く。
	各行事参加状況は厳しいが、防災に関しては多少意識が向いていると感じる。
	行事をやりたい人、行事に参加したい人はいると思う。そういった人たちをキャッチアップできるよう、行事の活性化の仕掛けを考えたいと思っている。
	大規模な団地では、世帯構成の違いや一部社宅借り上げなどもあり、なかなか一元的な対応はとれない事情がある。自治会運営に苦慮している。
	自治連に入っていない自治会を訓練や行事に誘う場合は、連絡網がないため、支部の役員が直接行くしかなく負担になっている。
市への要望	小さい自治会が集合して行事などを実施できるような支援が欲しい。
	自治連加盟に対して行政の後押しが欲しい。
	自治会運営で生じる問題など、個別の案件を気軽に相談に行ける特定の部署があると良い。
その他	体育会活動を行っているが、参加者が減少しており大会が開けない。また、内容もマンネリ化しており、内部でも行事に魅力がないとの意見がある。

栢町支部意見交換会でいただいた意見の概要

日時：平成 30 年 7 月 9 日

午後 7 時～8 時

於：こぶし会館

<p>加入促進・ メリット</p>	<p>加入促進活動を積極的に行っている。自治会の活動を周知したり、行事で誘ったり、加入チラシを個別にポスティングしたり、努力しているがなかなか加入にはつながらず、現状はかなり厳しい。(600 枚配って 1 世帯入るかどうか)</p>
	<p>新規の加入者もだが、自治会を抜ける世帯への対策をすることも重要。高齢で生活が大変で自治会に参加する余裕がないから辞める、ではなく生活が大変だからこそ自治会の支えあいが必要なのではないか。</p>
	<p>高齢で役ができないなどの辞めたい世帯に対して、災害や万が一のときの保険として自治会に加入しておいた方が安心であるという説得を行っている。(それでも辞めたいときには引き止めきれないのかもしれない)</p>
	<p>自治会のメリットの本旨ではないが、市から加入世帯には少なくとも良いのでごみ袋を無償で渡すなど、わかりやすく示せるメリットも必要。</p>
	<p>自治会への参加は義務や強制ではなく、会として行政に意見を言えたりできる権利という視点を伝えたい。</p>
	<p>ポスティングではなく、訪問での加入案内を行っても、メリットはと聞かれてしまう。加入促進はつらいものがある。なぜ自治会に入らなければならないのか、行政の考えを聞きたい。</p>
	<p>新興住宅などに加入促進を行っても、結局、直接役員等とつながりがある人や、以前住んでいた場所で自治会に入っていて、入ることが当たり前という感覚の方のみしか入ってくれない。</p>
	<p>都営に関しては入居者全員が加入している。東京都は自治会である必要はなく、共益費を自分たちで集めてもらえば良いとの考え。</p>
<p>高齢化</p>	<p>規約で高齢世帯の役員を免除している。</p>
<p>自治会運営 の課題・負担 など</p>	<p>役員も大変だが、やはり一番大変なのは自治会長である。長く務めると代わってくれる人がいなくなる。一方で自治会長が毎年交代するというのでは、会の運営は前に進んでいかない。→1 年交代でないともっとなり手が減ると思う。子育てをしながら自治会長を何年もやるのは難しい。→現役世代が会長職をやるのは難しいと思う。→勤め人で自治会長をやっているが、職場で自治会の資料を作成したりしている。そうしないと間に合わない。</p>
	<p>管理組合自治会で加入率は 100%だが、会員の自治会や自治会連合会に所属しているという意識は低い。</p>

自治会運営 の課題・負担 など	トラブルが起こるのが面倒であるため、拒否の意思が強い世帯が役員になる 番のときには順番を飛ばしてしまう。
	年に5回ある募金の負担が大きい。会員からも総会などで自治会が行政の下 請けとなって集金マシーンをやらされているとの声がある。
	自治会連合会の視察研修で行った前橋市では、自治会長に20万円の報酬を 渡していると聞いた。
	今年から自治会長を務めているが、自治会で長年行っている行事を止めた。 自治会費の大半を費やす割に、非自治会員の世帯に恩恵があったため、自治 会員が利益を享受できるものに変更する予定。同じ人があまり長く自治会長 をしていると行事などが硬直化すると思う。
その他	以前は自治会で葬式の手伝いを担っていた。現在は亡くなったことを会報等 でも知らせないで欲しいという世帯も多い。自治会長自身も後になってから 知り、遅れて香典を持っていくことが多くなった。
	絆カードを使っていない。便利だという認識がないためあまりメリットと感 じていない。普段行くスーパーやコンビニで使用できるようにして欲しい。
	高齢福祉課で行っているグループ旅行補助で旅行会社を市が指定するのは おかしい。旅行会社のための制度にしか思えない。
	今年から会長になっているが、20名ほどいる班長に挨拶や労いの言葉を個 別にかかけたいと思っている。

砂川支部意見交換会でいただいた意見の概要

日時：平成 30 年 6 月 22 日  
午後 8 時～9 時

加入促進・ メリット	加入の案内に行った際に、自治会加入のメリットとして示せるものがなく悩んでいる。
	加入率が高い他市（川越市・前橋市・小田原市などが挙がる）の事例・要因の研究・施策の模倣が必要ではないか。
	災害の際の助け合いで呼びかけてみてはどうか。
	以前は子ども会をきっかけに自治会に入ってくれる転入世帯もいたが、最近では子ども会にも入らないという話を聞く。
	災害時に避難所の運営などを担うのは自治会であるということを知らせてもらいたいし、加入していない人にも考えて欲しい。
条例について	応援条例では弱いし、文章のインパクトもない。自治会加入条例などとして、自治会加入世帯の税減免・加入の義務化などの強い施策を希望する。
自治会運営 の課題・負担 など	各自治会に特色がない。入っていないと損と思われる組織づくり（楽しそうや支えてもらえそうなど）が必要である。
	区域内に単身の世帯が増えているという実感がある。
	自治会区域では近年開発も行われており、転入してくる世帯もいるが、地元になじめておらず、たとえ加入しても活動に参加できていないと感じている。
	役員、班長などの業務に負担感があり、役員が終わった次の年に自治会から抜けてしまう。
	一度自治会から抜けた世帯は住んでいても再度の加入は難しいし、役員も勧誘には行かない。開発などがないと、そもそも入り得る世帯の総数が減少している現状がある。
市への要望	加入の案内については、行政の力添えも欲しい。
	市から区域内の開発や新築物件の情報をもらいたい。
	戸籍窓口での行政職員による加入の案内をして欲しい。
	戸籍窓口に「自治会に関する何でも相談」窓口（のぼり付）を開設するのはどうか。窓口では、自治連の加入促進委員会が対応するのも良い。
	マンションには、管理組合共益費に合わせて会費を徴収し、地元自治会に振り込んで欲しい。それには行政の支援も欲しいところである。
	今年自治会長になったが、今まで自治会活動をしていても市の顔が見えなかった。できれば自治会の班長会などに参加し、役員にも市と自治会の連携を実感できるようにしてもらいたい。魅力ある自治組織を作るには、行政と一体となって展開する必要がある。

大山団地の 取り組み	都営は居住する際に自治会加入の同意書を書いてもらう。
	新規の入居者には、班長があいさつに行ったり、歓迎会に招いたりするなど、自治会活動に入りやすい取り組みをしている。
	10年ほど前に自治会員の投票をして、都の公社に管理を任せず、自治会が共用部分の管理を行うことで共益費を下げ、その分自治会活動に充てることを住民の意見で決めた。
	高齢の同居の場合、遺族が葬儀を行うことが大変なので、自治会で廉価での請負を行っている。(利用実績は最近減少済み)
	高齢者に仕事を与えるため、その他にも請負事業を行っている。
	アメリカ村の世帯にも行事参加の呼びかけを行っており、近年参加してくれている。
その他	絆カードの冊子が大きすぎて携帯できず、お店での利用率にも影響していると思う。手帳サイズなどのものがあると良い。



西砂支部意見交換会でいただいた意見の概要

日時：平成 30 年 7 月 11 日

午後 7 時 40 分～8 時 45 分

加入促進・メリット	<p>市から開発事業者に対して、自治会加入に協力してもらおうよう依頼してほしい。</p>
	<p>新築の戸建住宅が増えているので、自治会で作成したチラシを利用して自治会加入促進活動を行ったところ、おおよそ 100 世帯に対して 20 世帯位が加入した。しかし、高齢となり自治会活動ができないといった理由で、20 世帯ほどの方が退会していった。</p>
	<p>自治会加入のメリットや具体的な活動内容を市がもっと周知するべきだ。</p>
	<p>西砂地域は新たに開発された戸建住宅が多いが、ほとんどの方は自治会には加入しない。若い世帯が多く、共働きや子育て等で忙しく、自治会活動どころではないようだ。しかし、災害が起きた際は近隣の助け合いが必要なので、「防災」を切り口として若い世代に自治会の必要性を訴えてほしい。</p>
	<p>マンションができたときにエリア内の自治会に入れてくれなかったのでマンション単位で自治会を作った。できれば地域の自治会に入りたかった。</p>
	<p>自治会加入のメリットとして、絆カード事業があるが、利用できる店舗が西砂地区にはほとんどない。ごみ袋が安くなるなどの特典があると良い。</p>
	<p>我が自治会では、開発時に事業者からお祭りやイベントなどのため自治会を作る旨を提案されたうえで入居しているので、自治会への参加率は高い。</p>
	<p>戸建住宅の開発により住民が増えているが、なかなか自治会に加入してもらえない。HP も有効だが、紙ベースのチラシが有効であると感じている。</p>
	<p>未加入の方にも自治会活動を周知するためには、HP も良いが、掲示板が有効であると考えている。市で設置できないのであれば、補助制度があると良い。</p>
	<p>西砂地区は、自治会・自治連や青少健、体育会、文化会などの活動情報をアップした HP を独自に作成しているので、有効利用してほしい。自治会、自治連のイベントや西砂会館等の予約状況も確認できる。</p>
自治会運営の課題・負担など	<p>自治会の動きが昔に比べてずいぶん変化している。我が自治会は子どもがないため、子ども会がなく、年寄が多い。現役世代も少なく、会員世帯数は 84 から 32 世帯に減少した。暮らし方が多様化しており、現在自治会が実施している事業（防災、お祭り、健康など）は、テーマごとに実行委員会のような組織が実施していくように変化していくと考えている。</p>
	<p>我が団地では、高齢の一人暮らし世帯が多く、何かあった時に心配だが、個人情報自治会に出さない方が多く、把握することができない。民生委員からも情報を得ることはできないため、困っている。</p>

自治会運営 の課題・負担 など	自治会長はくじ引きで決めており、1年交代である。役員は、10数年に1度回ってくる程度なのである程度の負担は耐えられると考えている。
	自治会の会合を夜8時30分から開始しているが、実施できる場所が近くなって困っている。また、回覧物が多く、しばらくたまってから回しているという状況である。
	自治会回覧物が多い。今後ペーパーレス化の時代になってくるので、市もデータでやり取りするなどの対応に変えていくべきではないか。(回覧したいデータを西砂HPでアップするといった対応)
	夏祭りの参加者が多くなり、いつも使っている公園ではキャパが足りなくなってきた。西武立川駅前ロータリーを使用したいが、どこへ相談すれば良いのか分からない。
	自治会単独の活動は年4回程度しか実施していない。HPで自治会情報をアップするにも、活動が少ない。自治連や体育会と連携した活動を入れると活動回数は多いが、いずれの活動も役員のみ参加となっているのが現状。皆自治会活動に参加しなくても特に困らない。
	自治会会員が減少し、公会堂の維持費が自治会予算の半分以上を占めている状況である。そのような中で、新しいイベントなどの取組みはできない。活動は縮小していく一方である。
	自治会長はボランティアで行うべきだと考えている。市内の自治会の中には、自治会長や役員に報酬を出しているところがあると聞くが、市はそれを把握したうえで黙認しているのか。そういったことを行っていると、自治会応援条例案の「自治会の役割」にある「～運営について、透明性の向上を図り～」といったことにならないのではないか。
	除雪作業等に適用される保険への補助金を新設してほしい。本来自治体等が行うべき公的なことを自治会が行っているため、保険位は補助してほしい。